

## 1. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 1-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 1-2. 本時の目標

生物多様性や人間の生活に果たす生態系サービスについて理解させ、海に関する学習に興味・関心をもたせる。

### 1-3. 本時の展開

| 主な学習活動 / 反応   | 教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）   |
|---|--|
| <p>GODAC によるオンライン授業 「生物多様性」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やんばるについて世界自然遺産登録。 / やんばるについてメモを取る。</li> <li>・ 生物多様性とは。多様性について選択問題。 / 解答番号に挙手</li> <li>・ 生態系の多様性 / 説明をノートに記入</li> <li>・ 種の多様性 / 予測説明をノートに記入。</li> <li>・ 遺伝子の多様性 / 説明をノートに記入。</li> <li>・ 生態系サービス、沖縄生態系サービスからの恩恵 4 つ / 解答を予想。生息・生息地、調整、供給、文化的サービスについてノートに記入。</li> <li>・ 宮古島の自慢は。 / 解答を予想する。</li> <li>・ 国連海洋科学の 10 年とは。 / 説明をノートへ記入。</li> <li>・ SDGs、JAMSTEC が挑む 10 の挑戦について説明 / 行動すべきことをノートへ記入。</li> <li>・ 私たちにできることは。 / ノートに記入</li> <li>・ 質疑応答</li> </ul> | <p><b>【事前指導】</b><br/>事前指導「サメ資源の有効活用に向けた取り組み」、資源管理型漁業、TAC 具体例 漁業関連産業の視点から大型モニターを使用し対面で実施。 / ペア学習への取り組み観察、ノートへの記入確認</p> <p><b>【本時の指導】</b><br/>オンライン授業内容を記録させる。生物多様性や人間の生活に果たす生態系サービスについて理解させ、海に関する学習に興味・関心をもたせる。 / 行動観察、ノートにて評価。生物多様性や生態系サービスについて基礎的な内容を理解しているか。小テストにて評価。</p> <p><b>【事後指導】</b><br/>水産海洋基礎実習、磯観察にて海ごみを撮影し AI に認識させる報告の方法を指導。 / 安全な服装、用具の準備ができているか。行動観察。</p> |

## 2. 今回の活動の自己評価

本校の食と環境科フードクリエイティブコースは、2年次に水産に関する教科である食品製造・食品管理・海洋情報技術・課題研究・総合実習を履修する。3年次には、課題研究において新商品開発に取り組ませている。これまでも課題研究でサメ資源の有効活用について新商品開発の研究がおこなわれてきた。しかしサメについての認識が誤っていたため、資源管理に関する内容を取り入れる必要があった。今回は、漁業の視点から事前指導をおこなった。関連して沖縄県青壮年女性漁業者交流会で3年生が発表した内容をもとに事前指導をおこない生物多様性に関しての理解を深められるよう工夫した。

生徒の様子は、課題研究で取り組みたい内容について、レポートを提出させたところフードマイレージについてなど今回学んだ生物多様性についての報告が多くあがっている。基礎実習においても忘れ物もなく休みもなく次の授業への提案など意欲的に変容している。

## 3. 今後の課題

オンライン授業のインターネット回線が不安定であるため、本校のネット環境の改善を要望している。

## 4. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

オンライン講義内容に関してはGODAC 小寺克己 氏による講義である。

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。